即

7画

一 ヨ 日 日 ㇀ 即

はねる

訓 ソク　音 おん

なりたち 旧字体は卽。食器に盛られた食物を表した白に匙（ひさ）の本字のヒを加えた皀と、人の形を表したPとの会意形声字。人が食事を見て〝すぐに就く〟ことを表した字。

いみとじゅくご

▼すぐに。

即日…その日。何か有ったその日。用例 即日帰京した。

即時…その時。すぐさま。少しの猶予も置かず。用例 即時解決した。

即刻…即時と同じ意味。

即座…その場ですぐに。即席。

即答…即座に答えること。

即決…即座に決定すること。

即断…即座に判断（決断）すること。

即金…即座に現金で（を）支払うこと。

即死…事故で即座に死ぬこと。

即興…❶その場の興味。座興。❷即座に作った詩や曲。

▼つく。

即位…位につくこと。

即応…そのままついて応ずること。目的にかなうこと。

不即不離…つかず離れず。

節

13画

竹 竹 竹 竹 竹 節

はねる

【4年】

訓 セツ・セチ・ふし　音 おん

なりたち 旧字体は節。腰を折り膝（ざひ）を折り食事に就いた形を表し、〝折り目・区切り〟の意味の即と竹（たけかんむり）との会意形声字。〝竹の節〟ほどよく締めくくるところから〝適度・締めくくる〟の意味に用いる。

いみとじゅくご

▼竹の節。

▼物の節。結びついている所。

関節…骨と骨が結びついている所。

▼文章や詩歌の一区切り。

第一節…文章などの一番最初のまとまり。

▼音楽の調子。節。

曲節…音楽の節。メロディー。

▼志や行いを堅く守って変えないこと。

節操…志や行いを堅く守って変えないこと。

忠節…忠義の心を守って変えないこと。

▼適度。控える。

節食…食事の量を控えること。

節約…無駄をせず、切り詰めること。

▼気候の変わり目。

季節…一年を気候で分けたそれぞれの期間。春夏秋冬。

基

11画

一 廿 甘 甚 甚 基

ながく

【5年】

訓 もと・もとい　音 おん キ

なりたち 箕（き）（穀物の殻と実とを振るって分ける道具）の本字で〝方形〟の意味の其（き）と土との会意形声字。〝方形の土地〟という意味で、家を建てる〝土台〟を表した字。転じて、〝本〟になるもののこと。

いみとじゅくご

▼土台。本（基）。

基礎…❶土台（石）。礎。❷物事のより所。本になるもの。

基盤…「盤」は磐（いわ）の意味。基礎。

基本…物事の本になるもの。物事のより所となるもの。基礎と全く同じ意味に用いられるが、〝標準〟の意味にも用いられる。物事の標準。

基金…事業の基盤になる資金。基本金。

基調…楽曲の中で主となる音階。主調。転じて、物事の基本となるものの意味。例 基調講演

基地…物事を行うより所となる土地。根拠地。例 南極基地

開基…基を開くこと。仏教で、寺院を新たに開くこと。また、開いた僧のこと。

よみかた 基準・基点・基部

碁

13画

一 廿 甘 甚 碁 碁

ながく

訓 ご　音 おん

なりたち 棊の異体字。〝方形〟の板の上で、白と黒の石で行う遊びを表した字。棊は其（き）と木の会意形声字で、〝碁盤〟を、碁は其と石との会意形声字で〝碁石〟を表した。棊は棋とも書く。

いみとじゅくご

▼碁盤。碁石。

碁盤…碁石を並べて遊ぶ盤。縦横十九本の線が引かれ、その交点を眼（め）といい、囲った眼の多少で碁の勝敗を決める。

囲碁…碁盤に白と黒の石をかわるがわる置き、眼（め）を囲う遊び。

碁石…囲碁に使う平たい円形の小石で、白と黒がある。

碁敵…囲碁の相手。

よみかた 詰め碁